

経営比較分析表（平成28年度決算）

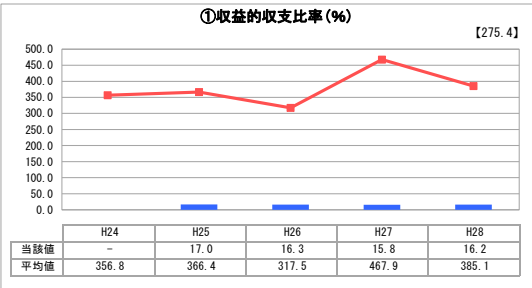
奈良県奈良市 奈良市転客門前観光駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 2	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	17	

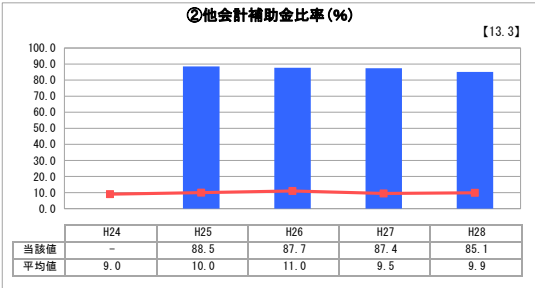
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
公共施設	無	1,201
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
33	200	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 平成28年度全国平均

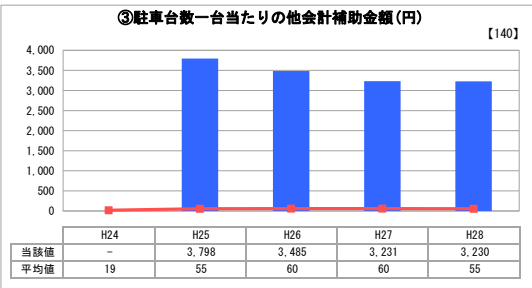
1. 収益等の状況



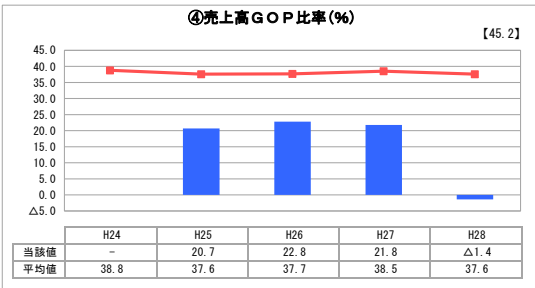
「経常損益」



「他会計補助金割合」

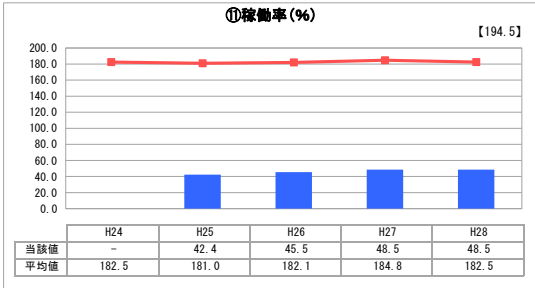


「他会計補助金額」

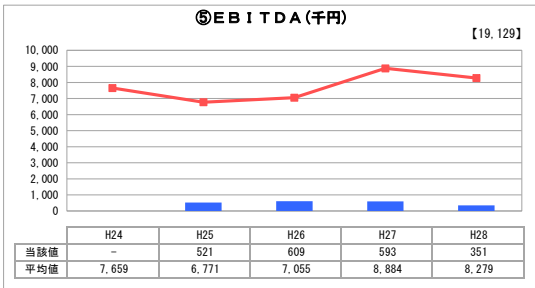


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況

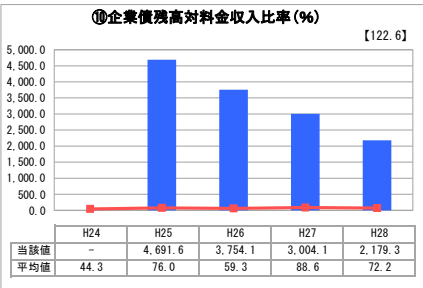


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価 (千円)
85,751
⑧設備投資見込額 (千円)
0



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
市債残高が多く残っており、それに対する償還額が多く、表②や表③の補助金にかかわる値が高くなっている。
また、他市の類似施設に比べてGOPなどの収益が減少傾向にあるため、年々増加している維持管理経費の見直しが必要になる。

2. 資産等の状況について
観光客の利用目的で建てられたため、駐車場収入は高くなく、起債も多く残っている結果、他市の類似施設に比べて表⑩の値が高くなっている。しかし、順調に返済しており、平成32年度に償還終了予定である。

3. 利用の状況について
観光客を対象として建設された駐車場であり、長期滞在の方が多く、他市の類似施設に比べて稼働率は低くなっているため、規模の縮小も含めて改善案を検討する必要がある。

全体総括
収支比率をはじめとした値が低いが、要員の1つである毎年の市債の償還については、平成32年度に終了し、他会計からの補助金の受け入れがなくなることが想定されるため、それ以外の要因である維持管理経費の見直しや規模の縮小といった収支の改善も図る必要がある。